



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名：諸野 祐樹 _____

所属機関・職名：海洋研究開発機構 主任研究員 _____

活動の種類 (該当項目を残す)	1. 乗船 (port call) 3. Sampling party	2. Pre-expedition meeting 4. 1st/2nd Post-expedition meeting
IODP 研究航海番号 および航海名	IODP Expedition 357	
乗船時の役割	Microbiologist (例 Sedimentologist)	
出張期間 (移動も含む)	2015 年 10 月 23 日 ~ 2015 年 12 月 13 日	
用務地 (国・都市)	イギリス サウサンプトン	
<p>本活動における成果</p> <p>IODP 第 357 次航海「北大西洋アトランティス岩体掘削による蛇紋岩化作用と海底下微生物活動との関連性の解明」を実施するため、欧州が提供する特定任務掘削船に乗船した。</p> <p>本研究航海では、IODP としては初めて、海底設置型の掘削装置を用いて海底下の岩石試料を採取した。北大西洋中央海嶺域に位置するアトランティス岩体の 10 地点を掘削し、コア試料の回収・分析を行うことで蛇紋岩化作用と海底下微生物活動との関連性を明らかにすることを目的とした。この航海は約 6 週間かけて実施される洋上 (Offshore) フェーズと陸上 (Onshore) フェーズの 2 段階から構成され、洋上フェーズである本航海には出張者 1 名が日本から、他に米国、欧州から計 9 名の研究者が参加して実施された。航海はイギリスのサウサンプトン港から開始した。計画では 8 日間の回航を見込んでいたが、天候の悪化による航路変更などにより、11 日後 (現地時間 11 月 5 日) に掘削サイトに到着した。その後、荒天待機となった 5 日間を除き 21 日間の間に 9 地点で 17 回の掘削作業を行い、総延長 57.05m の岩石試料 (コア) を取得した。また、そのうち、約 15%にあたる 7.95m 分の試料については微生物研究用の試料として船上にてサンプリングを行い、クリーン環境でのサブサンプリングなどを実施して、40 層準分の凍結試料、29 層準分の冷蔵培養試料などを採取した。また、船上では顕微鏡による細胞検出も実施した。</p>		
備考		

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。